

活動報告

団 体 名	鍼灸地域支援ネット
活 動 名	鍼灸・マッサージを利用した生活不活性予防と仮設住宅コミュニティ支援活動
活動期間	2018 年 10 月～2019 年 6 月
活動の成果	10 月より、仮設団地集会所での『鍼灸傾聴サロン』を開始する予定であったが、集会所では支援団体によるサロンやイベントが連日行われており、避難所で知り会った被災者の個別訪問の際に、『支援される苦痛』を聴くことが多かった。よって当 NPO では住民の負担になるような大きな活動を控え、個別的な訪問をしながら住民同士が「ご近所付き合い」の中でお互いが見守ることを支える『鍼灸・マッサージと傾聴』の活動を広めるようにしていった。 『みなし仮設住宅』、『自宅避難者』に対しては情報が入手できなかったため、12 月からは積極的に他の支援者との交流会、支援者会議に参加している。 このような草の根的な活動の結果、3 月になって保健師や社協職員、民生委員と一緒に建設型仮設団地を訪問して鍼灸やマッサージ、傾聴活動を行えるようになった（月 4 回、1 回につき 5～8 人ほどの参加者有り）。 県外からの支援者が徐々に活動撤退をしていること中、地元の鍼灸師・マッサージ師による傾聴支援が、行政や社協と一緒に出来るようになったことで、仮設住宅住民が押しつけられる支援ではなく、気軽に参加しながら互いが見守る自然な形の支援活動が出来ている。
寄付者へのメッセージ	私たちの活動にご支援をいただきまして、本当にありがとうございます。 平成 30 年 7 月西日本豪雨で被災した岡山県倉敷市真備地区、総社市昭和地区では、今も多くの方々が仮設住宅に住み、自宅再建の目処が立たないまま過ごしておられます。 発災から時間が経過する中で、人々の記憶から真備の災害が忘れ去られようとしています。 しかし、現状はまだまだ復興とは呼べる様相までは至っておりません。 私たちは、皆さまよりいただきましたご寄付を使わせていただき、仮設団地などで『鍼灸マッサージ傾聴活動』を行いながら、自宅を失った方々が互いに見守ることを支える活動を継続しております。 これからもこの活動を継続して参りたいと思います。 ご支援よろしくお願いいたします。

(活動のようす)

